

修学旅行

JR 白鳥

東能代から京都へ
(急行: あおり)

校友時報

号外

94. 11. 6 日発行

新聞部
(1年生)
佐井智子
小玉礼美子
柴田優子
でした!

●東能代へ京都は
12時間の長旅。
つれに、車窓を
のぞき楽しみ、ちよ
と、おんきようさう

7:51 ○東能代(10:31)

●八郎湯(10:05)

●秋田(9:31)

●羽後木荘(8:33)

●象潟(8:07)

鳥海山 2230

10:12 ●酒田(7:27)

10:31 ●鶴岡(6:51)

10:50 ●あつみ温泉

11:30 ●村上

11:39 ●坂町

11:46 ●中条

11:55 ●新発田

12:20 ●新潟

12:32 ●新津

12:50 ●東三条

13:06 ●長岡

13:30 ●柏山崎

13:55 ●直江津(2:57)

●筒石駅

14:19 ●糸魚川(2:25)

●魚津

14:51 ●黒部川

15:09 ●富山(1:29)

●神通川

●流城に

●1タイタイ崩落

●倶利伽羅

●倶利伽羅の戦い 1183

●(平家物語、倶利伽羅落)

●高岡(1:12)

●金沢(0:39)

15:47 ●小松

16:05 ●加賀温泉

16:15 ●芦原温泉

16:26 ●福井(23:52)

●北陸トンネル

17:13 ●敦賀(22:52)

●逢坂山トンネル

●逢坂の関

●これやこの、行くも帰るも

●別れては知るも知らぬも逢坂の関(百人一首)

●京都(21:27)

「象潟や雨に西籠がねぶの花」
作者は《 》念珠関跡
《 》三山とは?
○山、○山、○山新潟大 30 2F 村先生
高橋良 島山 青春の地春日山城跡
上杉謙信の居城
・上越教育大
小松先生が勉強中
(ワ班をホームで出迎えてく
ださるそうです)世界-?の
豪雪地帯市辰「ひとつ家に遊女も寝たり萩と月」
《 》 《出典》

立山連峰

このあたりからの
立山連峰の遠望が
すばらしい。
大正7(1918)
米騒動の発端の地大聖寺
加賀の一向一揆 1488~1580
一揆の総勢 20万富山県第2の都市
本校「自在の像」(戸公先生作)はここで铸造加賀百万石の城下町
「加賀は天下の書府」といわれ
学問・技芸隆盛の名残りをうかがえる。
兼六園は日本三名園永平寺
福井市東南の山中にある曹洞宗の大本山。700数十年前
誰? () が開いた。今も全国から雲水が集まり修行している。武生
紫式部が、走馬前守であ
った父為時とともに住んだところ。
996年(長徳2年)3. 19歳
この地は 越前和紙の里。敦賀
昔はロシア、
政治への
玄関口だ。逢坂山トンネル
逢坂の関
「これやこの、行くも帰るも
別れては知るも知らぬも逢坂の関」(百人一首)(;)
は帰りの発車時間

京都(21:27)